

(イ) 主管(室外側の分岐～室内側の第一分岐間)：図1のB部

		相当馬力	室外容量(KW)	液配管サイズ						ガス配管サイズ											
				φ6.4	φ9.5	φ12.7	φ15.9	φ19.1	φ22.2	φ25.4	φ12.7	φ15.9	φ19.1	φ22.2	φ25.4	φ28.6	φ31.8	φ34.7	φ38.1	φ44.5	φ50.8
主管	12	33.5			○	○							○※1	○	○	○※4					
	14	40.0			○	○								○	○	○					
	16	45.0			○	○								○	○	○	○				
	18	50.0			○※1	○	○※2							○※1	○	○	○				
	20	56.0			○※1	○	○※2							○※1	○	○	○				
	22	61.5			○※1	○	○※2							○※1	○	○	○				
	24	67.0			○※1	○	○※2							○※1	○	○	○				
	26	73.0					○※1	○	○※2							○※1	○	○	○※4		
	28	77.5					○※1	○	○※2							○※1	○	○	○		
	30	85.0					○※1	○	○※2							○※1	○	○	○		
	32	90.0					○※1	○	○※2							○※1	○	○	○		
	34	95.0					○※1	○	○※2							○※1	○	○	○		
	36	100.0					○※1	○	○※2							○※1	○	○	○		
	38	106.0							○※1	○	○※2								○	○	○※4
	40	112.0							○※1	○	○※2								○	○	○※4
	42	118.0									○※1	○	○※2						○	○	○

(ウ) 室内側の第一分岐～室内側の分岐間：図1のC部

	相当馬力	室内容量 (KW)	液配管サイズ					ガス配管サイズ												
			φ6.4	φ9.5	φ12.7	φ15.9	φ19.1	φ22.2	φ9.5	φ12.7	φ15.9	φ19.1	φ22.2	φ25.4	φ28.6	φ31.8	φ34.7	φ38.1	φ44.5	φ50.8
室内分岐～ 主管の管径 (室内機の 組合せ容量)	—	～10.1未満		○									○※3	○※3						
	—	10.4以上～18.0未満		○																
	—	18.0以上～37.1未満			○								○	○						
	—	37.1以上～54.0未満				○	○							○	○	○	○	○※7		
	—	54.0以上～70.0未満					○	○							○	○	○	○		
	—	70.0以上～						○	○							○	○	○	○	

(エ) 室内側分岐～室内機間：図1のD部

	相当馬力	室内容量 (KW)	液配管サイズ						ガス配管サイズ											
			φ6.4	φ9.5	φ12.7	φ15.9	φ19.1	φ22.2	φ9.5	φ12.7	φ15.9	φ19.1	φ22.2	φ25.4	φ28.6	φ31.8	φ34.7	φ38.1	φ44.5	φ50.8
室内分岐管	0.8	2.2	○						○	○※8										
	1	2.8	○						○	○※8										
	1.25	3.6	○							○										
	1.6	4.5	○							○	○									
	2	5.6	○	○						○	○									
	2.5	7.1		○						○	○	○								
	2.8	8.0		○							○	○								
	3.2	9.0		○							○	○								
	4	11.2		○							○	○	○							
	5	14.0		○							○	○	○							
	6	16.0		○							○	○	○							
	8	22.4		○	○							○	○	○						
10	28.0		○	○								○	○	○						

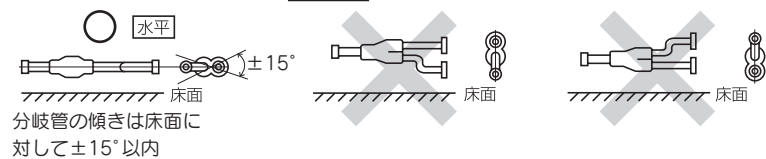
- ※1. 配管長が90mを超える場合は使用できません。 ※2. 主管長さが80mを超える場合は使用できません。
※3. φ15.9の縦配管は、室内機能力≦44の場合には10m以内、φ12.7の縦配管は、室内機能力≦35の場合には10m以内として下さい。
※4. 室外機が上位置の場合に、室内外機間の高低差が40mを超える場合は使用できません。
※5. 下流の室内接続容量が280以上の場合に使用できます。 ※6. 下流の室内接続容量が335以上の場合に使用できます。
※7. 下流の室内接続容量が450以上の場合に使用できます。 ※8. φ12.7の縦配管は、10m以内として下さい。

(4) 室外側分岐管セット選定

本分岐管セットは室外組合せユニット時に必ず必要となります。
(単独ユニットとして使用する場合は必要ありません)

お願い

- 室外機との接続管は室外機の接続配管サイズに合わせてください。
- 室内機側への配管(＝主管)は次項目に示す主管サイズに合わせてください。
- 分岐継手(ガス・液共)は必ず“**水平分岐**”するように設置してください。



5

- 組合せ機は、以下の内容に注意し、配管工事を実施してください。

①組合せ機は、下図のようにガス管および液管ともに、必ず分岐管(型式DOS)前に500mm以上の直管部を確保してください。

②組合せ機は、下図のように配管接続系統において室内機に近い室外機を、組合せ室外機中で最も小さい容量とし、室内機から近い室外機を組合せ室外機中で最も大きい容量として下さい(同じ容量の組合せの場合は、接続位置は問いません)。

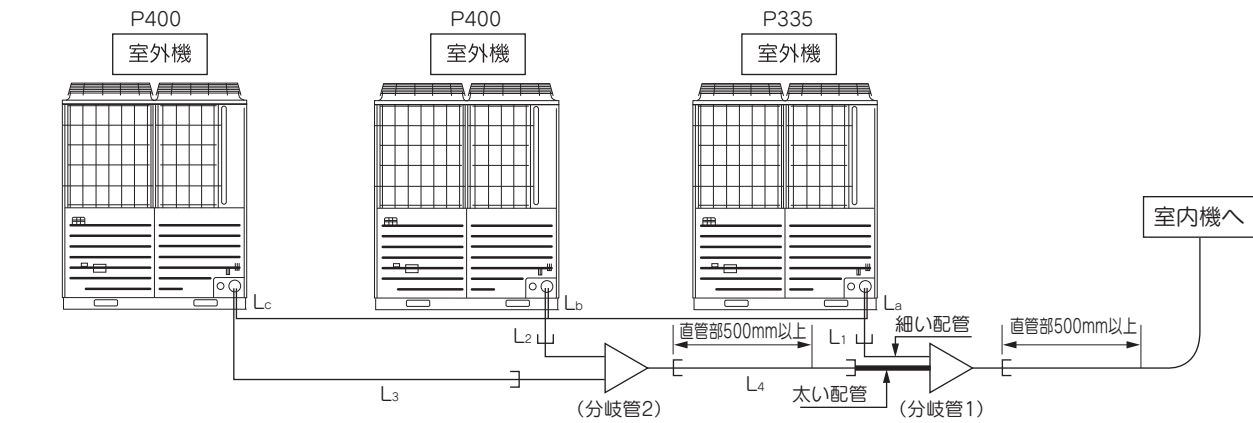
(例)下図のように、P1120(P335+P400+P400)の場合、配管接続系統で室内機に近い室外機をP335とし、室内機から近い室外機をP400とする。

③3台組合せ機の配管接続系統において室内機に最も近い分岐管(分岐管1)は、2股後の配管径が異なる分岐管を使用してください。また、必ず細い配管を室外機へ接続し、太い配管を次の分岐管へ接続してください。

④分岐管1と室外機間の配管長は5m以内として下さい。(L₁≦5m、L₂+L₄≦5m、L₃+L₄≦5m)

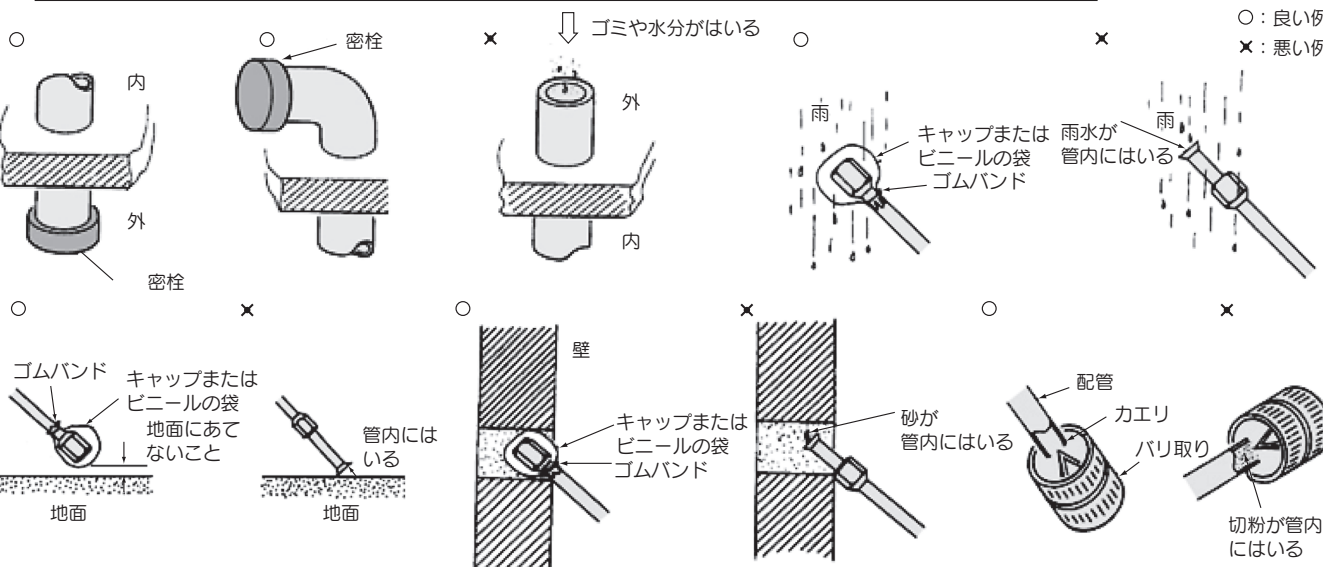
また室外機間の均油管長は10m以内として下さい。(L₁+L₂≦10m、L₂+L₃≦10m、L₃+L₄≦10m)

P1120室外機3台接続の場合



(2) 現地配管施工

- 重要
- 施工する配管はユニット内部部品に接触しないように注意ください。
- 現地配管施工は、操作弁を全開のまま行ってください。**
- 配管は、接続の直前まで密栓・キャップ等でカバーして水分、ゴミ、ほこり、切粉、塵材などが入らないようにしてください。



- 冷媒配管はできるだけ短く、直線になるように施工する。やむを得ず曲がりを取る場合は、曲げ半径を配管外径の4倍以上にしてください。曲げ直しを何度も行わないでください。
- 冷媒配管を曲げる場合はペンダを使用し、パイプが2/3 D 以下につぶれないようにしてください。
- 室外機と冷媒配管との接続はフレア方式です。配管にフレアナットを取付け後、フレア加工を行ってください。
- ①パイプ切断：パイプの長さに余裕(30～50 mm)をもって、パイプカッターを使用し、切断面を直角にしてください。
- ②バリ取り：切り粉が配管内に入らないように、配管を下向きにして、リーマを使用してください。
- ③バリの鋭くす除去：配管内部の鋭くすを、ドライバの柄などで軽くたたき、ガーゼ棒を使用して除去してください。
- ④フレア加工：フレアナットを挿入し、フレアダイス面から配管先端までは適正な寸法でセットし(下表)、フレア内面はキズがないように真円で均一に加工してください。

R410Aのフレア加工寸法は、従来のR22、R407Cとは異なります。R410A用フレアツールを推奨しますが、出し代調整ゲージにて出し代B寸法を調整すれば、従来のツールを使用できます。

⑤フレア部の確認：下表にてA寸法を確認し、図2のような形状となっていないか確認してください。

フレアナット二面幅：H(mm)		フレア管端部：A(mm)		フレア加工の銅管出し代：B(mm)	
銅管外径	H	銅管外径	A	銅管外径	
φ6.35	17	φ6.35	0.4	φ6.35	0～0.5
φ9.52	22	φ9.52	9.1	φ9.52	
φ12.7	26	φ12.7	13.2	φ12.7	
φ15.88	29	φ15.88	16.6	φ15.88	
			19.7		

PSC012D043A

5

4-2. 配管工事

(1) 配管接続位置と配管取出方向

付属配管

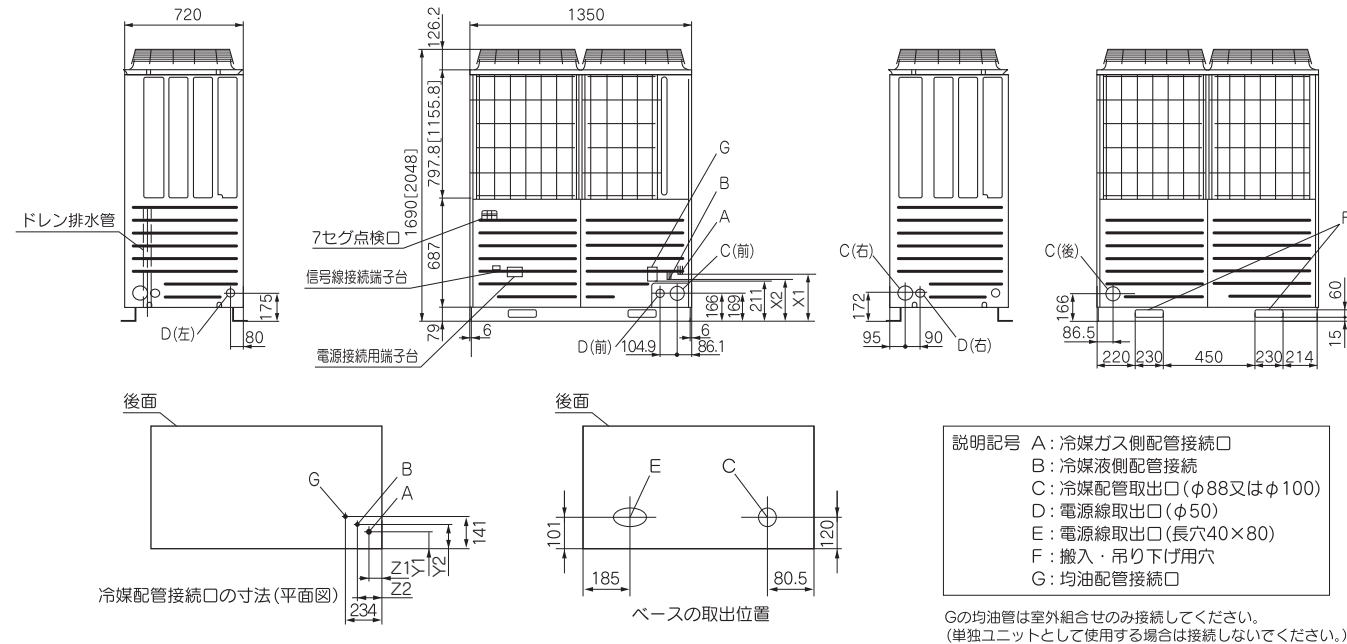
既設配管の配管径に合わせて、室外ユニットに付属配管を同梱しています。下表のように現地配管に合わせて適宜ご使用ください。

	形式 FDCRP	280	335	400	450	500
一体型	液	—	○	—	—	—
	ガス	—	—	○	○	○
組合せ	液	○	○	○	○	○
	ガス	—	—	—	—	—

※他メーカーからの置き換えの場合、配管径が合わない場合があります。 ○印：付属配管使用
※組合せの場合、室外側分岐管まで液管φ12.7、ガス管φ28.58で接続してください。

- 上記付属配管を使用した場合の配管接続位置の寸法を示します。

- 本図は容量335以下の図を示していますが、400以上もユニット高さが違うのみで配管接続位置と取出方向は同じです。
[]内の寸法が400以上のユニット寸法を示します。



- X1,X2,Y1,Y2,Z1,Z2の寸法については、下表を参照ください。

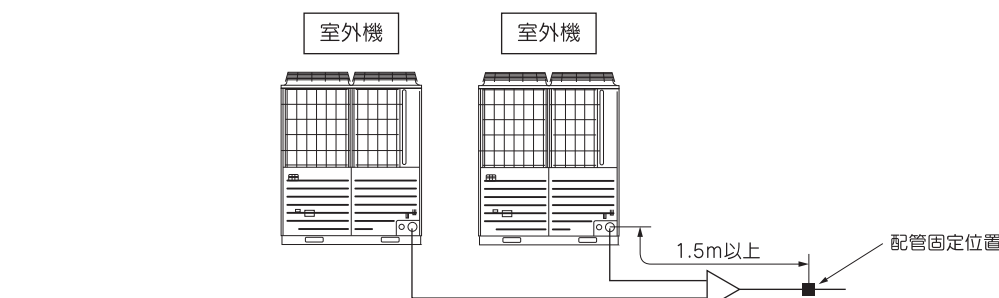
一体形

形式 FDCRP	335	400	450	500
X1	301.6	192.6	192.6	192.6
X2	173.3	277.2	277.2	277.2
Y1	108	108	108	108
Y2	146.5	146.5	146.5	146.5
Z1	58	58	58	58
Z2	101.6	112.5	112.5	112.5

組合せ

形式 FDCRP	280	335	400	450	500
X1	301.6	301.6	301.6	301.6	301.6
X2	173.3	173.3	173.3	173.3	173.3
Y1	108	108	108	108	108
Y2	146.5	146.5	146.5	146.5	146.5
Z1	58	58	58	58	58
Z2	101.6	101.6	101.6	101.6	101.6

- 配管の取出しは上図に示す通り前・右・下・後が可能です。
- 現地配管接続時、外板の貫通穴のハーフブランク(φ88又はφ100)をニッパにて切断し切り落としご使用ください。
- 配管取出し部により小動物等の侵入が考えられる場合は、配管取出し口を閉鎖材(現地手配)で塞いでください。
- ドレン集中排水の際には、配線・配管の取出し口は下抜き以外をご利用ください。下抜きをご利用の場合は、ドレン水の流出がないよう十分シールしてください。
- 現地配管は、エルボ(現地手配品)を利用して操作弁と接続してください。
- 配管配管の固定は下図のように配管固定部と室外機までの距離が1.5m以上になるようにしてください。
(防振方法によっては現地配管が折れる可能性があります。)



6

- ガス操作弁との接続は必ず付属配管を使用してください。** 取付方法の詳細は付属配管の取付説明書をご覧ください。

- フレア接続はダブルスパナで**しっかり締め付けてください。フレアナットの締め付けトルクは下表の値で行ってください。

●同一締め付けトルクでも、ユニオンのねじ部に冷凍機油を塗布した場合は、ねじ部摺動摩擦力が下がることにより、軸方向分力が増加してフレアの応力腐食割れの原因となることがあるため、フレア部に付け油は使用しないでください。

- 液側、ガス側操作弁ともに右の絵のように操作弁本体を固定し、適正な締め付けトルクにて締め付けをお願いします。

操作弁サイズ (mm)	締め付けトルク (N・m)	締め付け角度 (°)	工具の推奨長さ (mm)
φ6.35 (1/4")	14～18	45～60	150
φ9.52 (3/8")	34～42	30～45	200
φ12.7 (1/2")	49～61	30～45	250
φ15.88(5/8")	68～82	15～20	300
φ19.05(3/4")	100～120	15～20	450

ろう付け接続に関する注意点

- ろう付け作業は高度な技術と経験を要するため、労働安全衛生法で定めた溶接技能士又は、ガス溶接技術講習を終了した者が作業してください。
- ろう付け接合面を重ね、そのすき間にろう材を溶着させるため、接合面積を十分に取り、適切なすき間を取ってください。
- 銅管継手の最小はまり込み深さ、管外径と継手内径のすき間は、下表のとおりです。
- 銀ろうの場合のすき間は0.05 mm～0.1 mm程度が、接続強度を最も高くすることができます。

管継手の最小はまり込み深さとすき間	単位 mm	
	配管径 D	最小はまり込み深さ B
0.05～0.35	5以上8未満	6
	8以上12未満	7
	12以上16未満	8
0.05～0.45	16以上25未満	10
	25以上35未満	12
0.05～0.55	35以上45未満	14

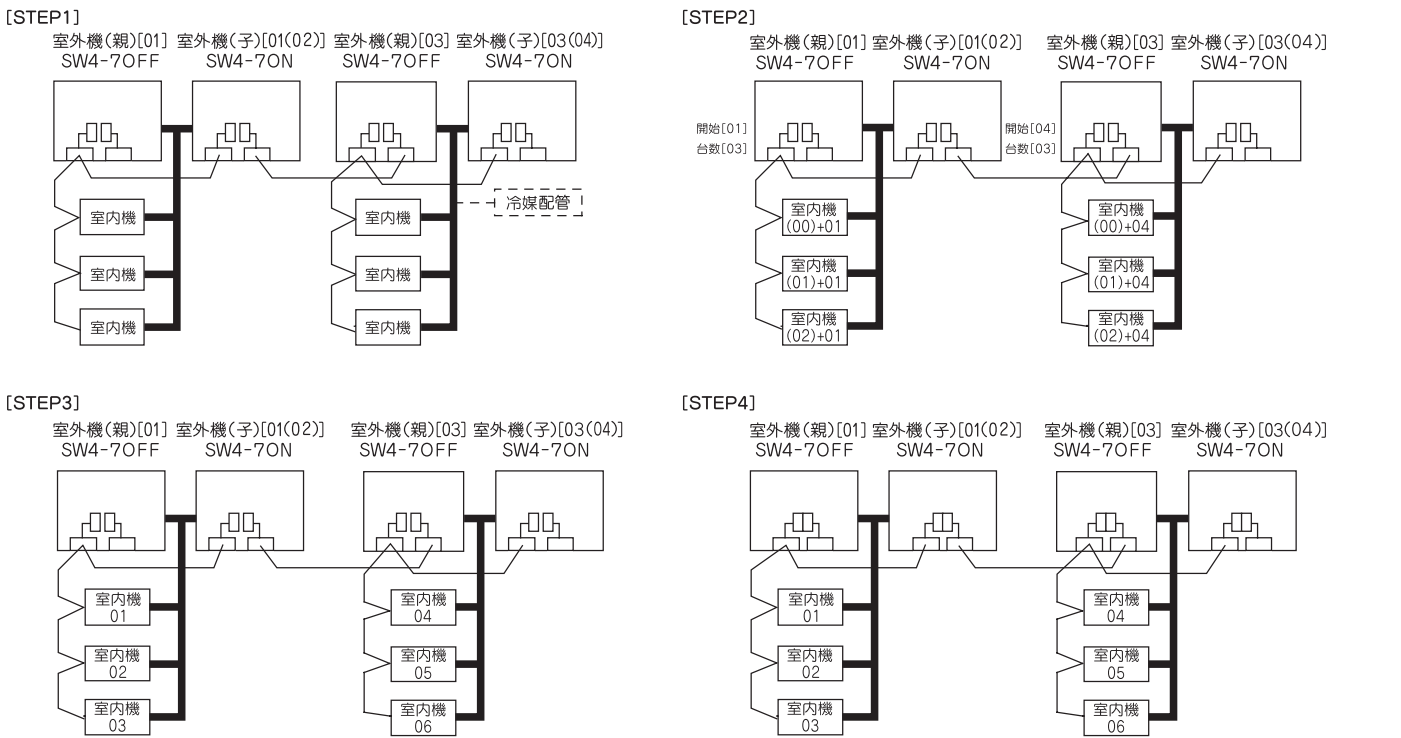
- ろう材については、次の注意事項を遵守してください。

- 亜硫酸ガス濃度が高いなど、腐食性雰囲気では、りん銅ろうBCuPはイオウと反応しやすく、水溶性のもらい化合物を作り、冷媒漏えいの原因となるので、他のろう材(例えば銀ろう)にしてください。また、ろう付け部を塗装するなどの対策が必要です。
 - 低温ろう(溶融温度が450℃未満のもの、いわゆる“はんた”)は、強度が弱く冷媒漏えいを起こすおそれがあるため、使用しないでください。
 - 修理などで再ろう付けする場合は、同一ろう材を使用してください。ろう材の名称が同じでも号数が異なれば、再ろう付けできない場合があります。
- 6) フラックスを使用する場合は、母材の種類、形状及びろう材の種類及びろう付けの方法などによって、適切なフラックスの選定が必要となります。以下にフラックスの分類と注意事項を示します。
- ろう付け後、フラックスを除去する。
 - フラックスに含まれる塩素が配管内に残量すると冷凍機油が劣化する原因になるので、塩素含有率の低いフラックスを選定する。
 - フラックスに水を追加する場合は、塩素を含まない蒸留水を使用する。その他、JIS Z 3621参照。

フラックスの分類					
AW5 No.	使用形状	ろうのタイプ	活性温度範囲 単位 ℃	フラックスの組成	母材の種類
FB3-A	ペースト	BAg, BCuP	565～870	ほう酸塩、 フッ化物	すべてのろう付けできる 鉄、非鉄金属合金
FB3-C	ペースト	BAg, BCuP	565～925	ほう酸塩、ボロン、 フッ化物	すべてのろう付けできる 鉄、非鉄金属合金
FB3-D	ペースト	BAg, BCuP, BNI	760～1205	ほう酸塩、 フッ化物	すべてのろう付けできる 鉄、非鉄金属合金
FB3-K	液状	BAu, BCuZn, BAg, BCuP	760～1205	ほう酸塩、 フッ化物	すべてのろう付けできる 鉄、非鉄金属合金
FB4-A	ペースト	BCuZn, BAg, BCuP	595～870	塩化物、ほう酸塩、 フッ化物	Al 青銅、Al 黄銅、Ti 及び他の 金属が少量添加されたもの

- [STEP4] (ネットワーク確定設定)
- ⑨ネットワーク接続
各室外機 (組合せの場合:親機) ごとに「AUE」表示を確認したら③で外した**ネットワークコネクタを接続**してください。
 - ⑩ネットワーク極性設定
ネットワークコネクタの接続を確認後、ネットワークの極性設定のため、**任意の室外機1台のみ(組合せの場合:親機1台のみ)**より7セグのP34で“1”を選択して確定をしてください。
 - ⑪設定完了確認
ネットワークが確定したら各室外機 (組合せの場合:親機) の7セグに「End」を表示します。「End」表示は7セグ操作もしくは3分経過後消灯します。

	STEP1	STEP2	STEP3	STEP4
内電源	②OFF	④ON	—	—
外電源	①OFF	④ON	—	—
室内機 (室内/室外 No.SW)	②内000 /外 49 (出荷時)	—	—	—
室外機(室外 No.SW)	①01.03 (例)	—	—	—
ネットワークコネクタ	③外す	—	—	③接続(各室外機)
自動アドレス開始設定	—	⑤各室外で開始設定セット	—	—
開始アドレス設定	—	⑥外01: f01] (例) 外03: f04] (例)	—	—
接続台数設定	—	⑦外01: f03] (例) 外03: f03] (例)	—	—
極性設定	—	—	—	⑩任意室外機から7セグP34セット
7セグ表示 (組合せの場合:親機)	—	⑦ [AUX] (点滅)	⑥ [AUE] (点滅) エラー時は「A○○」表示	⑪ [End]



- ・同一冷媒系統内のアドレス設定は室外機の認識した順番に設定されますので、必ずしも図のように室外機から近い順番に付番されるわけではありません。
- ・必ず全ての室内機の電源が入っていることを確認してください。
- ・設定完了後リモコンの点検スイッチを押すと確定した室内機アドレスNo.と室外機アドレスNo.が表示されます。
- ・1つのリモコンで複数台制御する場合でも自動アドレス設定は可能です。
- ・1度登録したアドレスは電源を切ってもマイコンに記憶されています。
- ・自動アドレス後アドレスを変更したい場合は、リモコンで行う「アドレス変更」もしくは室内機アドレススイッチで行う「手動設定」により変更が可能です。
- ・変更する場合はネットワーク上の他のアドレスNo.と重複しないように設定してください。
- ・自動アドレスが終了するまでは集中制御機器の電源は投入しないでください。
- ・アドレス設定後は必ず試運転を実施し、全ての室内機、室外機が正常に運転できることを確認し各室内機のアドレスを確認してください。

アドレス変更 (SLⅡのみ可能)

「アドレス変更」とは「**自動アドレス設定**」で既に設定した**室内ユニットアドレスをリモコンで変更したい場合**に使用します。
従ってリモコンによるアドレス変更ができる条件は次の通りとなります。

	室内機アドレス設定		室外機アドレス設定
	室内No.SW	室外No.SW	室外No.SW
1 冷媒系統自動アドレス	000	49	49
複数冷媒系統自動アドレス	000	49	00～31

この条件以外のアドレス設定の場合に「アドレス変更▼」を選択した時点でリモコンに下記表示を3秒間します。
ドット液晶表示: 「操作無効です」 (3秒間点灯)

操作手順
ecoタッチリモコンを接続の場合には、リモコンに同梱しております据付工事説明書の据付設定をご覧ください。
(1)リモコンに接続している**室内機が1台の場合**

	項 目	操 作	表 示
1	アドレス変更モード	①エアコンNo.スイッチを3秒以上押し続けてください。	「アドレス変更▼」
		②◆を押す毎に表示が切り替わります。	「アドレス変更▼」 ⇨「親室内アドレス▲」
		③「アドレス変更▼」表示のときにセットスイッチを押してください。 これでアドレス変更モードとなり現在の設定アドレスを表示し、室内No.設定表示となります。	「内001 外01」(1秒) →「室内No設定◆」(1秒) →「内 001◆」(点滅)
2	新室内No.の設定	④◆スイッチにより新室内No.をセットしてください。 ▲スイッチで＋1、▼スイッチで－1づつ表示が変化します。	「内 000▲」 ⇨「内 001◆」 ⇨「内 002◆」 ⇨「内 127▼」
		⑤アドレス選択後、セットスイッチを押してください。室内アドレスNo.を確定します。	「内 002」(2秒)
3	新室外No.の設定	⑥確定した室内アドレスNo.を2秒表示した後、室外アドレスNo.設定表示となります。 初期表示は現在の設定アドレスを表示します。	「内 002」(2秒点灯) →「室外No設定◆」(1秒) →「外 01◆」(点滅)
		⑦◆スイッチにより新室外No.をセットしてください。 ▲スイッチで＋1、▼スイッチで－1づつ表示が変化します。	「外 00▲」 ⇨「外 01◆」 ⇨「外 02◆」 ⇨「外 31▼」
		⑧アドレス選択後、セットスイッチを押してください。室外No. 及び室内No. を確定します	「内002 外02」(2秒点灯) →「設定完了」(2秒点灯) →停止状態に戻る

(2)リモコンに接続している室内機が複数台の場合

接続している室内機が複数台の場合は記録はそのままで夫々のアドレスを変更することができます。

	項 目	操 作	表 示
1	アドレス変更モード	①エアコンNo.スイッチを3秒以上押し続けてください。	「アドレス変更▼」
		②◆を押す毎に表示が切り替わります。	「アドレス変更▼」 ⇨「親室内アドレス▲」
		③「アドレス変更▼」表示のときにセットスイッチを押してください。 リモコンに接続している室内機のうち最も若い番号を表示します。	「室内ユニット選択 」(1秒) →「内 001 外01▲」(点滅)
2	変更する室内機の選択	④◆スイッチによりリモコンに接続している室内機と、それに接続している 室外機の番号が順に表示されます。	「内001外 01▲」 ⇨「内002 外 01◆」 ⇨「内003 外 01◆」 ⇨「内016 外 01▼」
		⑤アドレス選択後、セットスイッチを押してください。変更する室内機アドレス No.を確定し、室内No.設定表示となります。	「室内No設定◆」(1秒) →「内 001◆」(点滅)
3	新室内No.の設定	⑥◆スイッチにより新室内No.をセットしてください。 ▲スイッチで＋1、▼スイッチで－1づつ表示が変化します。	「内 000▲」 ⇨「内 001◆」 ⇨「内 002◆」 ⇨「内 127▼」
		⑦アドレス選択後、セットスイッチを押してください。室内No.を確定します。	「内 002」(2秒)
4	新室外No.の設定	⑧確定した室内アドレスNo.を2秒表示した後、室外アドレスNo.設定表示となります。 初期表示は現在の設定アドレスを表示します。	「内 002」(2秒点灯) →「室外No設定◆」(1秒) →「外 01◆」(点滅)
		⑨◆スイッチにより新室外No.をセットしてください。 ▲スイッチで＋1、▼スイッチで－1づつ表示が変化します。	「外 00▲」 ⇨「外 01◆」 ⇨「外 02◆」 ⇨「外 31▼」
		⑩アドレス選択後、セットスイッチを押してください。室外No.及び室内No.を 確定します	「内002 外02」(2秒点灯) →「次設定選択◆」(1秒点灯) →「室内機選択▼」(点灯)
5	終了	⑪引き続きアドレス変更を実施したい場合 ④に戻ります	「◆で選択」(1秒) →「設定完了」(2～10秒点灯)
		⑫終了したい場合1 (変更したアドレスを反映する場合) ⑩の状態で▼スイッチを押し「終了▲」を選択してください。 アドレス変更が終了した場合は「終了▲」でセットスイッチを押して下さい。設定を送信している間、「設定完了」の表示がでます。その後リモコン表示が停止状態に変わります。 ⑬終了したい場合2 (変更したアドレスを反映しない場合) 設定の途中で「運転/停止」スイッチを押してください。 本モードを強制終了し停止状態となります。 それまでに変更したアドレス設定は反映されません。	「終了▲」 →「設定完了」(2～10秒点灯) →停止状態 「運転/停止」 →強制終了

- ◆スイッチは0.75秒以上押しつづけることで0.25秒毎に表示を連続して1づつ切換えます。
- ・操作途中でリセットスイッチを押すと直前のセットスイッチ操作前の表示に戻ります。
- ・本モードの途中で、室内No.を変更しても、「室内機選択▼」で表示される室内No.は本制御に入る前に記憶している室内No.を順に表示します。「設定完了」となった時点で、室内No.が確定します。

ご注意 ・集中制御機器はアドレス決定後、電源を入れてください。 ・電源を入れる順番を間違えますとアドレスを認識しない場合があります。

●自動アドレス設定時の7セグ表示

お客様で設定して頂く項目

Code	表示内容
P30	通信方式表示 0：IBSL方式 1：SLⅡ方式 (通信状態を表示します。設定はできません。)
P31	自動アドレス開始入力 0：自動アドレス開始送信しない 1：自動アドレス開始送信する
P32	開始アドレス入力 自動アドレス時の開始室内アドレスを指定する
P33	接続室内機台数入力 自動アドレス時の冷媒配管を接続している室内機台数を指定する
P34	極性送信 0：ネットワークを確定しない 1：ネットワークを確定する

アドレス設定時の表示

Code	表示内容
AUX	自動アドレス設定中 X：室外機が認識した室内機の台数
AUE	室内機アドレス 付番 正常終了
End	極性確定 (自動アドレス) 正常終了

エラー時の表示

Code	表示内容	ここを点検して下さい
A01	実際に通信できる室内機台数が7セグP33で設定した台数より少ない	信号線はゆるみなく接続されていますか。 接続室内機台数を入力し直してください。
A02	実際に通信できる室内機台数が7セグP33で設定した台数より多い	信号線はゆるみなく接続されていますか。 ネットワークコネクタは外してありますか。 接続室内機台数を入力し直してください。
A03	開始アドレス(P32)+接続室内機台数(P33)>128台	開始アドレスを入力し直してください。 接続室内機台数を入力し直してください。
A04	旧SLⅡ設定ユニットがネットワーク上に存在する時に、 複数系統自動アドレス設定を行った。	手動アドレス設定を行って下さい。 旧SLⅡ設定機をネットワークから分離してください。 全てのユニットを新SLⅡ設定にして下さい。

異常表示

Code	表示内容	要 因
E31	室外機アドレス重複	・同一ネットワーク上に複数のモジュールが存在
E46	設定不良	・同一ネットワーク上で自動アドレスとリモコンアドレス混在

7ー2. 制御の切換

室外機の制御内容は、下記のとおり基板上のディップスイッチと7セグ上のP○○にて切換えることができます。
7セグ上のP○○切換時は、SW8(7セグ表示アップ：1位)、SW9(7セグ表示アップ：10位)及びSW7(データ書込/決定)長押しにて設定することができます。

制 御 切 換 方 法	制 御 切 換 内 容
基板上 SW設定	7セグ上 P○○設定
SW3-7 を ON※1	冷暖強制モード (外部入力端子開放の場合冷房、短絡の場合暖房と固定できます)
SW5-1 を ON + SW5-2 を ON	冷房試運転
SW5-1 を ON + SW5-2 を OFF	暖房試運転
室外機の液操作弁を開じ、下記に示す順に操作する。 (1)基板上 SW5-2 を ON (2)基板上 SW5-3 を ON (3)基板上 SW5-1 を ON	ポンプダウン運転
SW4-5:OFF, SW4-6:OFF※1 SW4-5:ON, SW4-6:OFF※1 SW4-5:OFF, SW4-6:ON ※1 SW4-5:ON, SW4-6:ON ※1	80% (出荷時設定) 60% 40% 0%
SW5-5	外部入力機能割り当てを *1 に設定※1
J13：短絡 (出荷時設定)、J13：開放時	外部入力端子に信号を入力するとデマンドモードになります。 (J13短絡時：レベル入力、J13開放時：パルス入力)
J15：短絡 (出荷時設定)、J15：開放時	通信方式切換 ON：IBSL通信 OFF：SLⅡ 外部入力切換 (CnS1、CnS2のみ) 短絡：レベル入力、開放：パルス入力 デフロスト切換 短絡：通常デフロスト、開放：強化デフロスト
—	P01 運転優先切換 0：先押し優先 (出荷時) 1：後押し優先
—	P02 室外ファン防雪制御 0：制御無効 (出荷時) 1：制御有効
—	P03 室外ファン防雪制御 ON時間設定 30秒 (出荷時) 10、30～600秒
—	P04 デマンド率変更値 (2段階デマンドor省エネモード制御※2) OFF：無効 (出荷時) 000、040、060、080 [%]
—	P05 静音モード設定 0：制御有効 (出荷時)
—	P06 外部出力 (CnZ1) 機能割り当て
—	P07 外部入力 (CnS1) 機能割り当て
—	P08 外部入力 (CnS2) 機能割り当て
—	P09 外部入力 (CnG1) 機能割り当て
—	P10 外部入力 (CnG2) 機能割り当て
—	P11～ 予備

- ※1 外部入力機能割り当て (P07～10) と、SW両方が切り替えられた時に制御が切り換わります。
(例：CnS1を冷暖強制モードの入力に使用する場合P07を2、SW3-7をON、CnS2を冷暖強制モードの入力に使用する場合はP08を2、SW3-7をONする)
- ※2 省エネモード制御の時は、外部入力端子に信号を入力しなくても能力制限が有効となります。

7セグ上で外部入力機能割り当て (P07～10) を切り換えることで外部入力端子の機能を切り換えることができます。外部入力端子に信号を入力すると下記の機能が有効になります。

外部入力機能割り当ての設定値	外部入力端子短絡時	外部入力端子開放時
*0：外部運転入力	許可	禁止
*1：デマンド入力	無効	有効
*2：冷暖強制入力	暖房	冷房
*3：静音モード1※1	有効	無効
*4：予備		
*5：室外ファン防雪制御入力	有効	無効
*6：試運転外部入力1 (SW5-1同等)	試運転	通常
*7：試運転外部入力 (SW5-2同等)	冷房	暖房
*8：静音モード2※2	有効	無効
*9：2段階デマンド入力	無効	有効
*10：A F 定期点検表示	有効	無効
*11：A F 異常表示	有効	無効
*12：ビルマルチ省エネ制御	有効	無効

- ※1 外温によって有効/無効を切替える。
- ※2 外温によらず常に有効。

7ー3. 外部入出力端子仕様

名 称	用 途 (工場出荷時)	仕 様	基板側コネクタ
外部入力CnS1	外部運転入力 (工場出荷時短絡)	無電圧接点(DC12V)	ニチアツ B02B-XAMK-2 (LF) (SN)
外部入力CnS2	デマンド入力 (工場出荷時短絡)	無電圧接点(DC12V)	ニチアツ B02B-XARK-2 (LF) (SN)
外部入力CnG1	冷暖強制入力 (工場出荷時開放)	無電圧接点(DC12V)	ニチアツ B02B-XAEK-2 (LF) (SN)
外部入力CnG2	静音モード入力 (工場出荷時開放)	無電圧接点(DC12V)	ニチアツ B02B-XASK-2 (LF) (SN)
外部出力CnZ1	予備出力 (外部出力)	DC12V出力	モレックス 5566-02A-RE
外部出力CnH	運転出力	DC12V出力	モレックス 5266-02A-BU
外部出力CnY	異常出力	DC12V出力	モレックス 5266-02A

